

# 用語集

## A

### Adobe Acrobat (Reader)

Adobe Acrobat はアドビシステムズ株式会社から市販されているソフトで、PDF ファイルを編集、閲覧する Adobe Acrobat と PS/EPS ファイルなどを PDF ファイルに変換する Acrobat Distiller から成る。

一方、Adobe Acrobat Reader は、PDF ファイルを閲覧するためのソフトで、同社から無料で提供されています。??からダウンロードできるほか、雑誌の付録などからも入手できる。最新版は 4.05 + update2.

### AFM

Adobe Font Metric。PostScript フォント用のメトリックフォント。

### aliases

DOS のファイル名の制限などにより実在するファイル名と  $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$  コンパイラから呼ばれるファイル名が一致しない場合にその対応表を作って対処することができるが、この対応表をいう。ロングファイルネームが使用可能であるので、まず不要であろう。

### AMS

American Mathematics Society の略。アメリカ数学会。

### $\mathcal{A}\mathcal{M}\mathcal{S}\text{-}\mathcal{L}\mathcal{A}\mathcal{T}\mathcal{E}\mathcal{X}$

$\mathcal{A}\mathcal{M}\mathcal{S}$  による  $\mathcal{L}\mathcal{A}\mathcal{T}\mathcal{E}\mathcal{X}$  マクロパッケージのひとつ。amsmath の他に amsthm、amsintx、amscd などのパッケージが用意されている。

参照: AMSFonts

### AMS フォント

$\mathcal{A}\mathcal{M}\mathcal{S}\text{-}\mathcal{L}\mathcal{A}\mathcal{T}\mathcal{E}\mathcal{X}$  などで用いられるフォント。標準の  $\mathcal{L}\mathcal{A}\mathcal{T}\mathcal{E}\mathcal{X}$  では備わっていない多くの数学用記号などが含まれる。

AMS-LaTeX

### ASCII $\text{p}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$

株式会社アスキーによって日本語化された  $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 。p は publishing を指し、商用出版にも堪えられるように開発されたもので縦組みにも対応しています。現在、 $\text{p}\text{T}_{\text{E}}\text{X}2.1.10$  ( $\text{T}_{\text{E}}\text{X}3.14159$ ,  $\text{t}\text{e}\text{T}_{\text{E}}\text{X}1.0$ ) が最新版である。

### ATM

Adobe Type Manager のこと。アドビシステムズ社が開発した PostScript フォントをモニタ上でアウトライン表示させるためのソフト。

## B

### babel

多言語の組み版を可能にする package。標準で含まれている?。

### BibTeX

### bitmap font

### BMC

dviout 独自の画像フォーマット。BMP を圧縮したもの。

**bmc.exe**

dviout 独自の画像フォーマットである  
BMC を.....

**BMP**

画像形式の一種。

**BoundingBox****C****CTAN**

Comprehensive TeX Archive Network の略。CTAN とそのミラーには、 $\TeX$  関連のファイルが集められている。

**cx モード**

Canon の 300dpi のモードをいう。

**D****DLL 版**

DLL は Dynamic Link Library の略。浅山和典氏の Windows 環境に移植したものを指す。最近では、角藤氏の DLL 版を指すこともある。

参照：浅山版，角藤版

**Donald E,Knuth**

$\TeX$  の生みの親である。元スタンフォード大学教授。...

**DOS/Win 版**

DOS で動作する  $\TeX$  をいう。以前は浅山版を，最近では松木版をいう。

参照：浅山版，松木版

**dpi**

Dots Per Inch の略。1 インチの間に，どれだけの点を打てるか，読み込めるかという解像度を表す単位である。

参照：解像度

**DVI**

DeVice Independent の略で、『装置に依存しない』という意味。 $\TeX$  で処理を行った後，拡張子 .dvi のファイルができる。

**dviout for Windows**

DVI ファイルを表示・印刷する Windows 上のソフト。DOS 版 dviout/dviprt の後継版である。dviprt の多くの機能も含んでいる。

**dviout/dviprt**

DOS で動作する DVI ファイルを表示・印刷するソフト。dviout がプレビューア、dviprt がプリンタドライバ。Windows 版の登場により，使用の機会は減ったが，やや複雑な印刷を行う場合は，現在でも dviprt が役立つ。

参照: previewer, printer driver, dviout for Windows

**dvips/dvipsk**

dvi ファイルを PS ファイルに変換するプログラム。dvipsk の k は，kpathsearch の k を表し，kpathsea 対応版である。角藤版により配布されている dvips.exe は kpathserch に対応しているオリジナルのもの，dvipsk.exe は、Kpathsea と日本語に対応している。

同じ様なものに，dvi2ps などがある。

参照: DVI,PS,kpathsea,

**dvipsv.exe**

dvips の VFLib 版。

参照 dvips, VFLib

**DVIware**

一般に dvi ファイルを扱うソフトをいう。dviout for Windows や xdvi などがそれに当たる。

## E

### EC フォント

ヨーロッパを中心とするアルファベット言語圏では特殊なアクセントなどが使われているが、それらを収録したフォント。The European Computer Modern Fonts。現在の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>には EC Fonts の使用が推奨されている。

### em(エム)

T<sub>E</sub>X で用いられる長さの単位。現在選択されているフォントの M の横幅をいう。通常,  $1em = 10pt$ ?

参照: ex

### EPS/EPST

EPST は, Encapsulated PostScript File の略。F を省略して EPS などとも呼ばれる。単独の画像などを切り出した PS(PostScript) の特殊な形式。

参照: Postscript

### ex

T<sub>E</sub>X で用いられる単位の一つ。

## F

### FreeType

### FT<sub>E</sub>X

@nifty で開設されているフォーラムのひとつ。T<sub>E</sub>X に関する話題を扱っている。

## G

### GF

Generic FOnt の略。各文字のグリフ (glyph, 字形) をビットマップ形式で格納したもの。MF ファイル (拡張子 .mf) を METAFONT で処理することにより得られ

る。通常, GF は gftopk.exe により, PK フォントへと圧縮される。

参照: PK, METAFONT

### gftodvi

GF ファイルを, DVI 形式に変換するプログラム。変換後の文字は大きく表示されるため, デザインのバランスを見ることができる。校正用といったところ。

参照: GF

### gftopk

GF ファイルを圧縮するプログラム。変換後は PK フォントと呼ばれている。

参照: GF, PK

### Ghostscript

PS ファイルを非 PS プリンターに出力するソフト。プリンタに出力する以外に、別のフォーマットへのコンバータとしても使える。T<sub>E</sub>X で画像を扱うときに PostScript を利用するのが便利であり、そのとき Ghostscript が活躍する。通常、gs と略す。

cf.PostScript

### graphics packages

正式名は, The L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X Colour and Graphics Packages

カラーや画像の扱いを可能にする color.sty, graphicx.sty などが含まれる。

### GS\_LIB

??が??のために参照する環境変数。

### GSview

### GT font

### GUI-Shell

乙部氏による pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>Xfor Windows Another Manual に含まれる統合ソフト。guishell.exe から各種プログラムを呼び出

すことができる。また, guishell 自身も TeXmac などエディターから呼び出すことが可能。現在の最新版は??で, ...から入手可能。

## H

### HyperTeX

HyperTeX とは, TeX ソースに `¥special` を書き込んでおくと, WWW Browser で実現されているような HyperJump ができるといえるものです。

参照: special

## I

inimf

initex

INS ファイル

## J

JFM

jpeg

## K

### Knuth

参照: Donald E. Knuth

### Kpathsea

Karl Berry 氏によるファイル検索システム。texmf.cnf というファイルに、どのプログラムが、どのフォルダを検索するか、記述できる。以前は Kpathsearch と呼んでいた。

参照: texmf.cnf

### LaTeX

Leslie Lamport 氏が plain TeX を改良し機能強化したマクロパッケージ。現在  $\LaTeX$  といえば新バージョンの  $\LaTeX 2_{\epsilon}$  を指し、以前の  $\LaTeX$  は  $\LaTeX 2.09$  とよぶ。

### $\LaTeX 2.09$

$\LaTeX$  の古いバージョン。

参照: LaTeX

### LaTeX2e

$\LaTeX$  の最新バージョン。 $\LaTeX 2.09$  に比べ、フォント周りで改良が加えられている。従来のスタイルファイルもクラスファイルとパッケージへと分類された。 $\mathcal{A}\mathcal{M}\mathcal{S}\text{-}\LaTeX$  などを使う場合も、同一のフォーマットファイルで済むようになった。

```
¥documentstyle{クラスファイル}
¥usepackage{パッケージファイル}
¥begin{document}
....
¥end{document}
```

という形式となった。

### Leslie Lamport

$\LaTeX$  の開発者。

### ls-R

texmf フォルダ以下の全てのファイル名をサブフォルダも含めて記述したデータベースファイル。検索時間の短縮を計るのが目的であるが、このファイルがなくても十分高速であり、現在では不要である。ファイルの一覧に変更が生じるたびに `mktexlsr` コマンドで作成する必要がある。

参照: mktexlsr

## M

### Macintosh 版

Machintosh で動作する TeX をいう。Macptex のほか、OzTeX などもある。

### MacpTeX

慶応大の内山孝憲氏が ASCII pTeX を Macintosh(MacOS) に移植したもの。最新版は 2.1. ?

### Macky 版

参照：松木版

### magstep

### MAKETEXPK\_STYLE

### manfnt

### マークアップ言語

参照: WYSIWYG

### MEM ファイル

### makeindex

Pehong Chen 氏が開発した、LaTeX で索引 (Index) を作成するためのマクロ & プログラム。これを使うと、面倒な索引作成を簡単に行える。

### mendex

LaTeX で索引を作るためのツールとして makeindex がある。しかし、これは元々欧文用であり、単に日本語対応しただけの makeindex では毎回

```
¥index{にほんこわあふる@日本語ワー  
プロ}
```

のように濁点や長音に考慮した「読み」を必ず指定しないと 50 音順に並んだ索引を作ることができなかった。そこで ASCII は mendex というツールに改良した。これは、日本語の読みを辞書ファイルに持つことで、

```
¥index{日本語ワープロ}
```

としても正しい 50 音順に並べることができる。その他、「数字・記号 欧文 和文」の順序にこだわらない並べ方もできるようになっている。

参照: makeindex

### METAFONT

TeX の開発者である Knuth は、組版ソフトだけでは飽きたらず、TeX で使う文字までもすべて自分でデザインして開発してしまった。その際に用いられたプログラム言語がこの METAFONT である。内容は、特殊なグラフィック記述言語とみて構わない。文字をデザインするために、様々な曲線を表現できるようになっている。これも TeX と同じように inimf と virmf に分かれている。最近では virmf と inimf が統合され、通常 mf は virmf として動作し、mf -ini とすれば inimf として動作する。

参照: MetaPost

### METAPOST

John Hobby が METAFONT を基に開発したもので、METAFONT と合わせてメタファミリーと呼ばれる。METAFONT が GF を出力するのに対し、META O T は PostScript ファイルを出力する。METAPOST の利点は、画像にテキストを添えることができる点と、カラーが扱える点である。もっとも日本語は現在のところ使えない。

参照: METAFONT

### MF

mf.base

mfnfss

mftools

**mktexlsr**

TeX では膨大な数のファイルを扱うので、その検索スピードを上げるため、ls-R というファイルに texmf 以下のファイル名一覧を記録して使っている。mktexlsr はその ls-R を作るためのプログラムである。

**mktexpk**

mf から Pk フォントを作るプログラム。コンパイル時や dviout から呼ばれる。

**mktexfm**

mf フォントから tfm ファイルを作成するプログラム。以前は MakeTeXTFM と呼んでいた。参照: tfm, mktexpk

**modes.mf**

METAFONT がフォントを作るとき、プリンタ等の特性に合わせて解像度・縦横の比率・線の太さ等を指定しなければいけない。そのとき使われるのが modes.mf のデータである。実際に使うときには mf -ini(昔は inimf) でベースファイルに変換しておいて、mf が実際にフォントを作るときそれを参照することになる。modes.mf の中身を見ておいて、適当なプリンタ名等を mf に指定すればよい。昔は modes.mf でなく U\_Wash.mf というものを使っていた。

参照: base file

**MusiXTeX**

MusicTeX の作者 Daniel Taupin が、他 2 名とともに開発している MusicTeX の後継パッケージ。現在、記譜では標準の地位を占めている。

**N****NFSS**

New Font Selection Scheme の略。Frank Mittelbach, Rainer Schoepf 両氏によって開発された新しいフォント選択機構のこと。

これに対し LaTeX2.09 で採用されていたフォント選択機構を OFSS (Old Font Selection Scheme) と呼ぶことがある。NFSS は、OFSS に比べより柔軟なフォント指定ができることがその大きな特徴である。

**NTT JTeX(NTT JLaTeX)**

NTT の齊藤康己氏が日本語へ移植した TeX。現在は千葉大の桜井貴文氏がメンテナンスを行っている。最新バージョンは ???。日本語化のアプローチが異なる。縦組み不可。

**O****OzTeX****OpenType Font**

TrueType Font と Type1 Font のテクノロジーを統合した新しいアウトラインフォント。

**P****package****PBM****PDF(Portable Document Format)**

Portable Document Format の略。拡張子 .pdf のファイル。Adobe Acrobat で使用するドキュメントで、閲覧には Acrobat Reader が必要である。

参照: Adobe Acrobat, GhostScript, PS(PostScript), PDFTeX

**pdfTeX**

TeX のソースファイルから直接 PDF を生成するプログラム。日本語は不可。

## PK フォント

METAFONT が出力した GF ファイルを、GFtoPK で圧縮したファイルのこと。T<sub>E</sub>X で標準的に使われるフォント。

参照: GF, GFtoPK

## plain TeX

Knuth 氏 が開発した様々なマクロの中で、最も基本的な機能だけを登載したもの。これに不満を持った Lamport が、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を作ることになる。

## pLaTeX

アスキーが日本語化した L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X。縦組にも対応している。現時点での最新版は L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>を元にした pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>である。'p' は publishing の意味。

参照: pTeX

## pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>

ASCII が発表した L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>を元にした縦組も可能な日本語 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X。旧版の縦組日本語 LaTeX は pLaTeX 2.09 と呼び区別する。

参照: ASCII pTeX, pTeX, LaTeX2e, pLaTeX 2.09

## pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub> Another Manual

乙部・江口両氏の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub> for Windows Another Manual を指す。

## PostScript

アドビシステムズが開発したページ記述言語。

## preview

いわゆる印刷イメージ。プリンタに出力する前に DVI ファイルのイメージを見る (ディスプレイに出力) ということである。

## previewer

プレビューを行うデバイスドライバのこと。dviout for Windows などがそれに当たる。

## primitive

TeX が元々から備えている命令群のこと。マクロはこれの組み合わせで構成されている。『原始の』『原始的な』という意味がある。

参照: macro

## printer driver

DVI ファイルをプリンタへ出力するデバイスドライバ?。

## PS

参照: PostScript

## ps2pk

## PSfrag

EPS 内の文字列を置き換えるパッケージ。これにより日本語や複雑な数式の記述が可能となる。

## psnfss

Sebastian Rahtz 氏によって開発されたシステムで、TeX で PostScript フォントを使用するためのもの。NFSS 上で動作する。  
参照: NFSS

## PSTricks

Timothy van Zandt が開発している、描画用のパッケージで、PostScript 言語を直接 LaTeX で扱うためのインターフェイスと言える。そのため、樹形図、組織図などのノード、カラーグラデーション、タイリング、3D 表現等々、多彩で強力な描画が可能である。

参照: PostScript

## pTeX(pLaTeX)

株式会社アスキーが開発した日本語 TeX を更に改良し縦組ができるようにしたもの。最新版は TeX 3.14159 をベースにした pTeX p2.1.10 である。pTeX の 'p' は publishing の意味。

pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X2.09

## S

## scalable font

参照: vector font

## special

TeX のプリミティブの一つ。図を描くのが苦手な TeX は、将来の拡張用としてこのプリミティブを用意しておいた。これに特別な命令を書き込んで DVI に落とす。これをデバイスドライバ側で解釈して描画を行う。TeX 側で描画を行うことはなく、負担が軽い。Knuth 曰く、『グラフィックの何らかの標準が生まれるものと期待している』だそうである。

参照: Tpic, tpic specials

## styleuse (スタイル・ユース)

岩熊哲夫、古川徹生両氏によるフリーのドキュメント『LaTeX のマクロやスタイルファイルの利用』のこと。ファイル名が STYLEUSE.LZH なのでこう呼ばれる。LaTeX を扱う者なら、誰もが抱く疑問を解決してくれるドキュメントとして非常に人気がある。

しかし、コンパイルに多数のスタイルファイルが必要とし、ファイルが見つからない場合はそれを使用している部分を飛ばしてしまうため、完全なものを作成するのにかなりの困難を伴う。このため、完全版と称される DVI ファイルが配布されている。

[http://mechanics.civil.tohoku.ac.jp/~bear/bear\\_collections/](http://mechanics.civil.tohoku.ac.jp/~bear/bear_collections/)

奥山澄雄氏によって PDF 版も配布されている。

<http://ea3pch.yz.yamagata-u.ac.jp/member/susie/tex/tex.htm>

## Susie Plug-in

## T

T<sub>E</sub>X

アメリカ・スタンフォード大学の元教授、Donald E. Knuth が開発した組版システム。

特徴としては、.....

T<sub>E</sub>X のように E は少し下げて書くのだが、テキストファイルでは『TeX』と書くように定められている。読みは『テフ』あるいは『テック』など。

参照: Donald E. Knuth, LaTeX

## TeXmac

## TEXMF

## texmf.cnf

pTeX ver.??? から導入された。TeX に関する初期設定を書いておくファイル。古い TeX では、環境変数へ各種設定を行っていた。

参照: pTeX

## TEXMFCNF

## TFM

TeX Font Metric の略。拡張子.tfm。GF とは対になっている。こちらには文字の大きさなどの情報が含まれており、T<sub>E</sub>X はこのファイルを元に組版を行う。

GF

## teTeX

## TEXPK

## times

欧文書体の1つ。英国新聞『Times』のために作られた書体。

## tools

... や.. など有益なスタイルファイルが含まれる。

**Tpic**

Brian Kernighan 博士開発の、簡単な図を描くためのプログラム言語『PIC』を、Tim Morgan 氏が TeX の `\special` に対応させたもの。当然、デバイスドライバ側が対応していなければ出力できない。記述性はかなり高く、プリプロセッサの形を取る。`dviout/dviprt` はこれに対応している。

GPIC, special, tpic specials

**tpic specials**

TeX の `\special` に、Tpic 準拠の命令を書き込んだもの。

Tpic

**ttindex.exe****TTF****Type1**

PostScript で用いられるアウトラインフォントの一種。拡張子.pfb のバイナリー形式と拡張子.pfa のテキスト形式がある。このほか、Type42 などいろいろある。参照: PostScript

**typeset**

参照：コンパイル

**V****vector font**

ベクトルの概念を用いたフォント。ビットマップと違い、文字データをベクトルで持っているので、拡大縮小を行ってもデザインが崩れない。スケーラブルフォントとも呼ばれる。

**VF****VFlib****VFONTCAP****virmf****virtex****Virtual Fonts**

複数のフォントを1つのフォントとして合成したり、フォント内の配置を換えたりする機構。PostScript フォントなどを TeX のフォントと同等に扱えるようにするためにも用いられている。仮想フォントともいう。

**W****Web2C****Win32 版****Win DLL 版****WinDVI**

OS/悟氏が開発した Windows 上で動作するデバイスドライバ。プラグイン機能があり、外部プログラムで機能の拡張ができる。pTeX による縦書きには対応していない。正式版が公開されシェアウェアとなった。TeX for Windows に WinDvi というデバイスドライバが付いてるが、それとは別物。

**WinDvi(PRO)**

インプレスから発売された TeX for Windows に付属していたデバイスドライバである。WinDvi は TrueType フォントにしか対応していない。PK フォントが使える WinDviPRO が同社から別途発売されている。OS/悟氏のシェアウェア WinDVI とは別の物である。

参照：デバイスドライバ, TeX for Windows

**WinTpic**

**WYSIWYG**

What You See Is What You Get の略。(ディスプレイ上での) 見たままのものが(プリントアウトとして) 得られるという意味。

参照: DTP

**X****xdvi for MacOS**

慶応大の内山孝憲氏が X Window System 用のプレビュー xdvi patch level 14 を参考に Macintosh(MacOS) に移植したもの。

参照: Mac pTeX

**XyMTeX (キウムテック)**

藤田眞作氏が開発した, 化学構造式を簡潔に記述するための LaTeX マクロ。XyM の y は, 本来ギリシャ文字の 『 ς 』 で, TeX の e とは逆に少し上げて書く。

**あ****浅山版**

京都大学 (現在, ソニー) の浅山和典氏により DOS/Windows に移植されたもの。DOS 版としては浅山版 pTeX2.1.4, Windows 版としては pTeX2.1.7 (DLL Version 1.0.3) が最新のものとなり, 現在では古いものとなっている。(だからここでは入手先を明記しない) DOS 版は松木版を, Windows 版は角藤版を使うことを勧める。浅山氏の提供した Windows 版は DLL であったので, DLL 版とも呼ばれている。

参照: 角藤版, 松木版, DLL 版

**アウトラインフォント (outline font)**

欧文フォントの自動生成

**オン・デマンド (on demand)**

必要なときに必要な部数を印刷するシステム。

**か****カーニング (kerning)**

組み版を美しく表現するために, 文字の組み合わせに応じて文字間の詰め処理を行うこと。

**外字**

JIS 第一水準・第二水準に含まれていない文字や記号をいう。

**解像度**

画像における細部の表現能力をいう。通常 DPI という単位が用いられる。

**拡張子**

ファイル名につけられた, より後の文字列をいう。TeX では, tex, dvi, aux, log などがある。

**角藤版**

近畿大の角藤亮氏が Windows 環境に移植した TeX を指す。<http://www.fsci.fuk.kindai.ac.jp/~kakuto/win32-ptex/> から入手できる。

**ガンマ補正**

モニタのコントラストを示す値。

**機種依存文字**

JIS 漢字コードで定義されていないコード領域の文字や記号のこと。自由に使われるコード領域であるため, ある機種で正しく表示されていても別の機種では文字化けなどを起こすことがある。

## 禁則処理

行頭に句読点や閉じ括弧がきてはならないといった禁則があり、その禁則をさけるための処理をいう。約物類の前後を詰めて前行に追い込んだり、字間を割って次行に追い出したりして全体のバランスを考えながら調節する。T<sub>E</sub>X では自動的に行われる。

## クラスファイル (class file)

拡張子 .cls のファイルを指す。クラスオプションやページスタイル (ノンブル (nombre) や柱のスタイル) などとそのデフォルト値などが定義されています。(p)LaT<sub>E</sub>X で指定できる標準的なものは、(j)article.cls, (j)report.cls, (j)book.cls などがある。

## クラス (ファイル) オプション

### 合字 (ligature)

2字以上を組み合わせた文字のこと。Office の ffi の部分などがそれにあたる

### コマンド

一般的にはコンピュータに対しての命令をいう。

T<sub>E</sub>X のコマンドは ~ のような特殊文字からなるか、または ¥ で始まるコントロール・シーケンスである。

参照: control sequence (コントロール・シーケンス)

### 今昔文字鏡

[文字鏡研究会](#)が配布している文字セットをいう。Unicode の CJK 漢字はもちろん、諸橋大漢和辞典収録の約 5 万字の漢字や、更に、古くは甲骨文字から、現代中国で使われている簡体字まで、多種多様な文字が収録されている。

### コンパイル (compile)

一般的には、プログラム言語をコンピュータで実行可能な形式に変換すること。T<sub>E</sub>X

においては、T<sub>E</sub>X のソースファイルを T<sub>E</sub>X で処理することをいう。タイプセット (typeset)、T<sub>E</sub>X を (に) かけるともいう。

## さ行

### スタイルファイル

LaT<sub>E</sub>X で用いられる、多数のマクロや色々な設定変更のパラメータを収めたファイル。

参照: パッケージ

### ソースファイル

## た

### タイプセット

### 代用フォント

本来使用すべきフォントが存在しない場合に、そのフォントの代わりに使用するフォントをいう。dviout for Windows では、-F で指定できる。

### トンボ

印刷の刷り合わせを正確にするために付ける目印。裁断用にも用いられる。

### トリミング (trimming)

写真原稿の必要部分だけを抜き出し、不要な部分を切り捨てること。

## な

### ノンブル (nombre)

ページ番号のことをいう。

## は

ハイフネーション

柱

各ページへ挿入する見出しの一種。ヘッダーやフッターなどがそれに当たる。

パッケージ

フォーマットファイル

拡張子 .fmt のファイルをいう。latex.ltx などのマクロを initex によって処理したもの。T<sub>E</sub>X の処理時に読み込まれている。

参照：initex, マクロ

プリアンブル

`\begin{document}` 以前を指す。パッケージの読み込みやマクロの定義などを記述する。

ベースファイル

base file

plain.mf、modes.mf などのファイルを mf -ini (昔は inimf) で処理してできるファイル。plain.base または mf.base である (DOS では .bas の拡張子になる)。META-FONT ソースからフォントを作製するとき、mf はベースファイルを設計基準として読み込んで使っている。modes.mf には各種プリンタ用の設計基準が記されているので、新しい modes.mf を入れたら mf -ini で処理し直してベースファイルも新しくしなければならない。昔は cmbase.mf も処理して別のベースファイルを作ることがあったが、現在は普通やらない。

参照：METAFONT, modes.mf

補助漢字

1990 年に「情報交換用漢字符号-補助漢字 (JIS X 0212)」として定められた 5801 文字のこと。Unicode には補助漢字が含まれている。

T<sub>E</sub>X で補助漢字を使うには,,,

参照：<http://www.est.co.jp/Klfont/yougo.html>

## ま

マークアップ

HTML など、テキストファイルに対して属性や命令を表す記号を組み込んでいくことによって表現する言語。

面付け

印刷物を降り加工する際、ページが順に正しくそろうよう、一定の方式で版下を配列すること。

文字鏡フォント

参照：今昔文字鏡

マクロ

いくつかの基本的な機能や命令を組み合わせて新たな 1 つの高機能な命令を指す。

松木版

松木俊寿氏が DOS に移植したもの。入手先は...

モード